

# 2025年2月期 第3四半期決算説明資料

2025年1月14日

株式会社ヨシムラ・フード・ホールディングス（証券コード：2884）

- | 1 2025年2月期 3Q決算ハイライト
- | 2 トピックス
- | 3 2025年2月期 3Q決算詳細
- | 4 Appendix

(注) 2025年2月期第1四半期連結会計期間及び当第3四半期連結会計期間において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、2024年2月期第3四半期及び2024年2月期に係る各数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。

# 2025年2月期 3Q決算ハイライト



売上高は前年同期比1.3倍、営業利益は2.2倍に増加  
3Qも売上高、営業利益、EBITDA共に引き続き好調に推移

売上高

433億円

前年同期比

x1.3

営業利益

29.9億円

前年同期比

x2.2

EBITDA

48億円

前年同期比

x1.8

## 売上高は前年同期比+25.1%、営業利益は+120.6%と大幅な増収増益を達成

(単位：百万円)

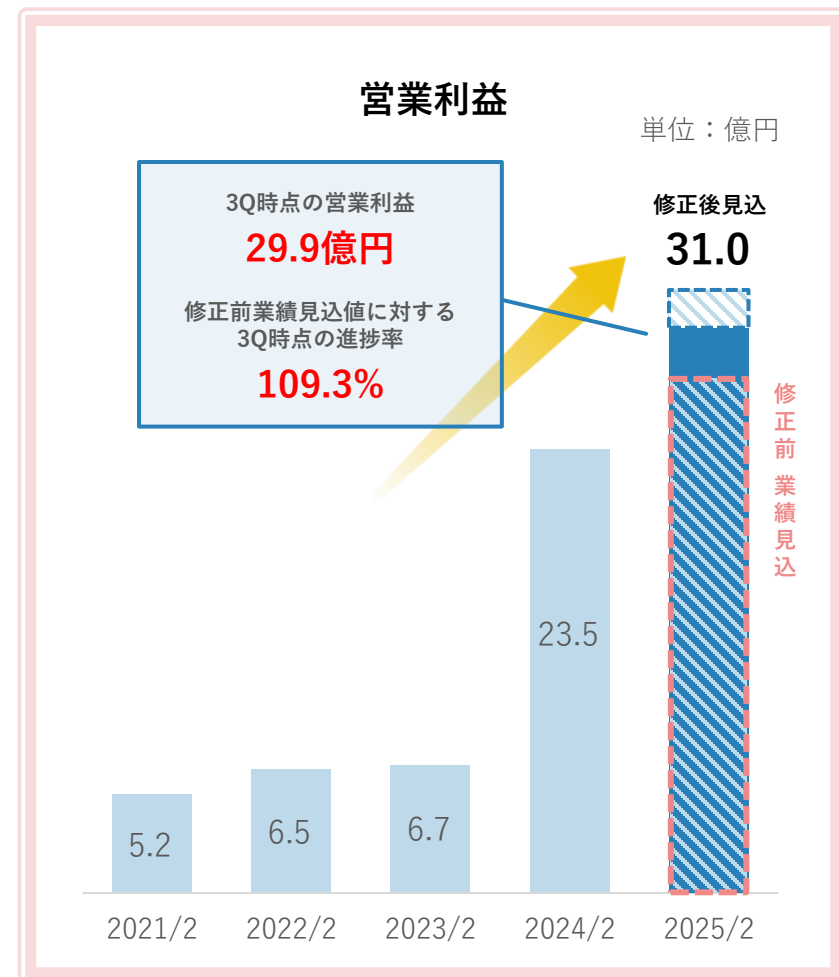
	2024年2月期 3Q		2025年2月期 3Q		前年 同期比
		構成比		構成比	
売上高	34,645	100.0%	43,351	100.0%	+ 25.1%
営業利益	1,359	3.9%	2,999	6.9%	+ 120.6%
経常利益	1,904	5.5%	3,060	7.1%	+ 60.7%
親会社株主に帰属 する当期純利益	590	1.7%	1,246	2.9%	+ 111.1%
EBITDA	2,669	7.7%	4,863	11.2%	+ 82.2%

- 売上高は、ワイエスフーズグループ（株式会社ワイエスフーズ、株式会社マタツ水産、有限会社オガネサン清藤水産、株式会社ワイエス海商）の取り込みにより増収。既存企業のオーガニックな成長も貢献。
- 営業利益は、ホタテの市況回復によりマルキチ及びワイエスフーズグループが好調に推移。
- 経常利益は、為替差損52百万円（前年同期は為替差益303百万円）を計上したことが影響。

# 2025年2月期業績予想の上方修正

ホタテの市況回復によりマルキチ、ワイエスフーズグループの業績が好調に推移し、営業利益が予想を上回る見通しとなる。加えて、マルキチが補助金を受領し、経常利益及び当期純利益が予想を上回る見通しとなる。

(単位：百万円)	修正前 業績見込	修正後 業績見込	増減額	増減率
売上高	58,215	58,215	0	0.0%
営業利益	2,744	3,100	355	+ 13.0%
経常利益	2,671	3,543	871	+ 32.6%
親会社株主に 帰属する 当期純利益	1,504	1,620	116	+ 7.7%
EBITDA	4,889	5,245	355	+ 7.3%



(注) EBITDA = 営業利益 + 償却費 (減価償却、のれん) + コロナ関連補助金収入 + M&A取得関連費用

# トピックス



ホタテの市場価格は、国内外の需要回復により処理水放出前の水準に戻り、安定した状態が続いている。引き続きアメリカ、ヨーロッパ、アジアからの引き合いが増加している。

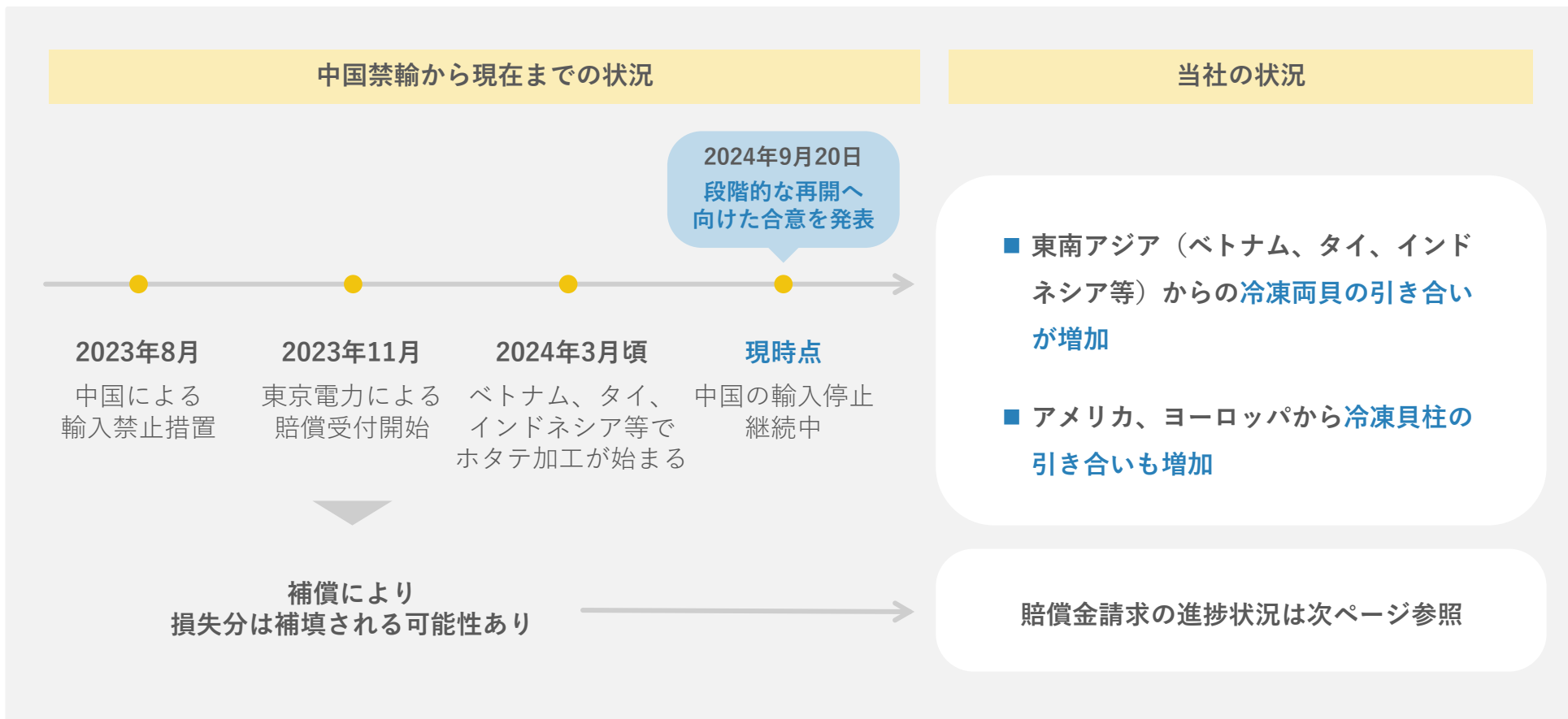
ホタテ貝柱の販売単価推移（当社販売価格を基準とした推定市場価格）





## 中国による輸入禁止措置が継続する中、中国以外からの引き合いが増加

### 对中国輸出に対する当社の状況



## 2024年12月にワイエスフーズにおいて賠償金の一部を受領

### 1. 輸出関連事業者（輸出に伴う損害を被った事業者）向け

#### 対象となる損害

処理水放出に伴う  
輸出先国の輸入拒否等によって、  
**現実に廃棄・転売等または  
生産・製造の断念等を  
余儀なくされたことによる  
減収が生じた場合**

2024年12月9日 ワイエスフーズは **約8.5億円** を受領

(1) 賠償対象期間	自 2023年8月1日 至 2023年10月31日
(2) 賠償金額	848百万円
(3) 賠償金入金日	2024年12月9日

#### 今後の対応

**ワイエスフーズにおいて2023年11月1日以降の損害&  
マルキチ及びマタツ水産においても賠償請求を継続**

### 2. 水産加工業・水産卸売業向け

#### 対象となる損害

処理水放出による  
**風評被害**によって生じた  
逸失利益及び追加的費用

#### 請求の状況

風評被害の見解に  
相違があるものの、  
協議を継続中

#### 今後の対応

風評被害による損失は発生しているため、  
**損害を論理的に説明し交渉を継続**

(注) 逸失利益：処理水放出がなければ得られたであろう収益と実際に得られた収益との差額から、処理水放出がなければ負担していたであろう費用と実際に負担した費用との差額（処理水放出により負担を免れた費用）を控除した額

2025年1月9日にマルキチにおいて、約3.8億円の補助金を受領し、営業外収益に計上

公益財団法人水産物安定供給推進機構より  
「ALPS処理水関連の緊急新規需要開拓等支援事業補助金」  
約3.8億円を受領

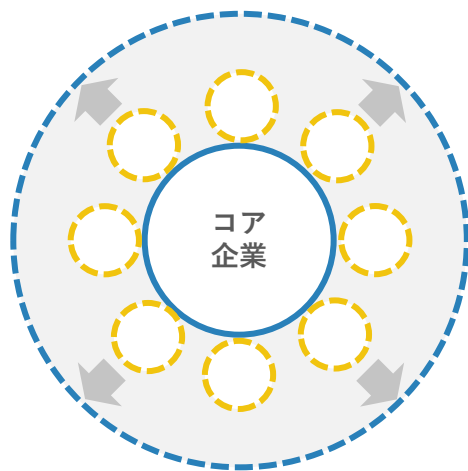
(1) 補助金の種類	ALPS処理水関連の緊急新規需要開拓等支援事業補助金
(2) 補助金の金額	382百万円
(3) 補助金の概要	<p>本補助金は、東京電力福島第一原子力発電所のALPS処理水の海洋放出に対し、中国が日本産水産物の輸入を全面禁止したことを受け、新規需要開拓等支援事業の実施を通して、水産業の特定国・地域依存を分散させることを目的としています。</p> <p>マルキチは、徹底された衛生管理により、取得が難しいとされる米国、EUを含めた世界7カ国に対しHACCP認証を取得しており、長年にわたり、日本産ホタテの輸出促進に取り組んでまいりました。</p> <p>今回、海外へのさらなる輸出を目的として、新規需要開拓に向けた取り組み（ホタテの保管・加工量の増加等）を実施したことで、本補助金を受領いたしました。</p>

## 2024年12月19日、株式会社富強食品をグループ化

当社が掲げる2つのM&A戦略のうち、富強食品は高付加価値商品によりニッチ市場で高いシェアを獲得しており、ニッチ市場戦略に合致

### 1. ロールアップ戦略

大規模かつ高利益率を誇る企業



核となる企業を新規M&A + 同業他社ロールアップ

- 設備投資により競争優位性を確立できる業界
- 工場の集約により生産性を改善し効率化を図れる業界 等

### 2. ニッチ市場戦略

付加価値が高い商品の製造を行う企業



## 春巻きの皮を主力商品とした中華料理材料等の製造販売を行う企業 ニッチ市場において高いシェアを獲得することで、高い利益率を誇る

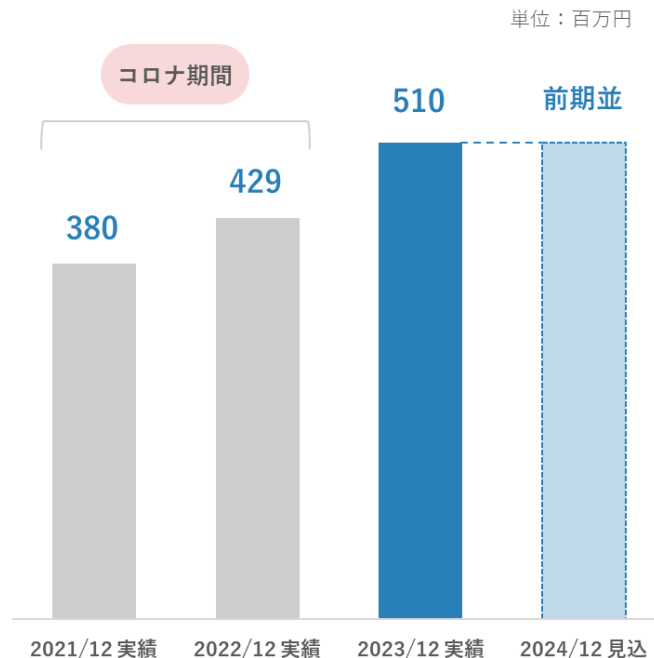


### 想定シナジー

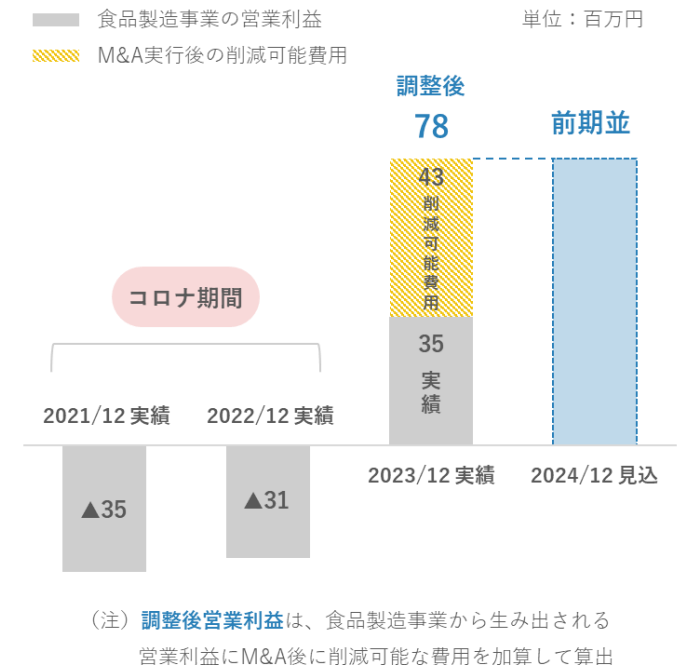
- 類似食材を取り扱うグループ企業との協業により、新商品開発や販売先共有による売上増加、生産効率化やコストダウンを図る。
- 国分グループの全国に広がる小売店向け販路を活用することで、売上増加を目指す。

- 1958年に創業して以来、日本で初めて春巻きの皮を製品化した企業としてブランドを確立
- 本格的な中華料理で使用されるニッチな食材を幅広く取り扱っており、特に春巻きの皮は手間をかけて製造（焼いて冷ます工程を経ている）することで、その品質の高さと美味しさが高く評価されている
- 著名な高級中華料理店やホテル、高級スーパーを主な販売先として、業務用春巻きの皮の市場において高いシェアを獲得している

売上高



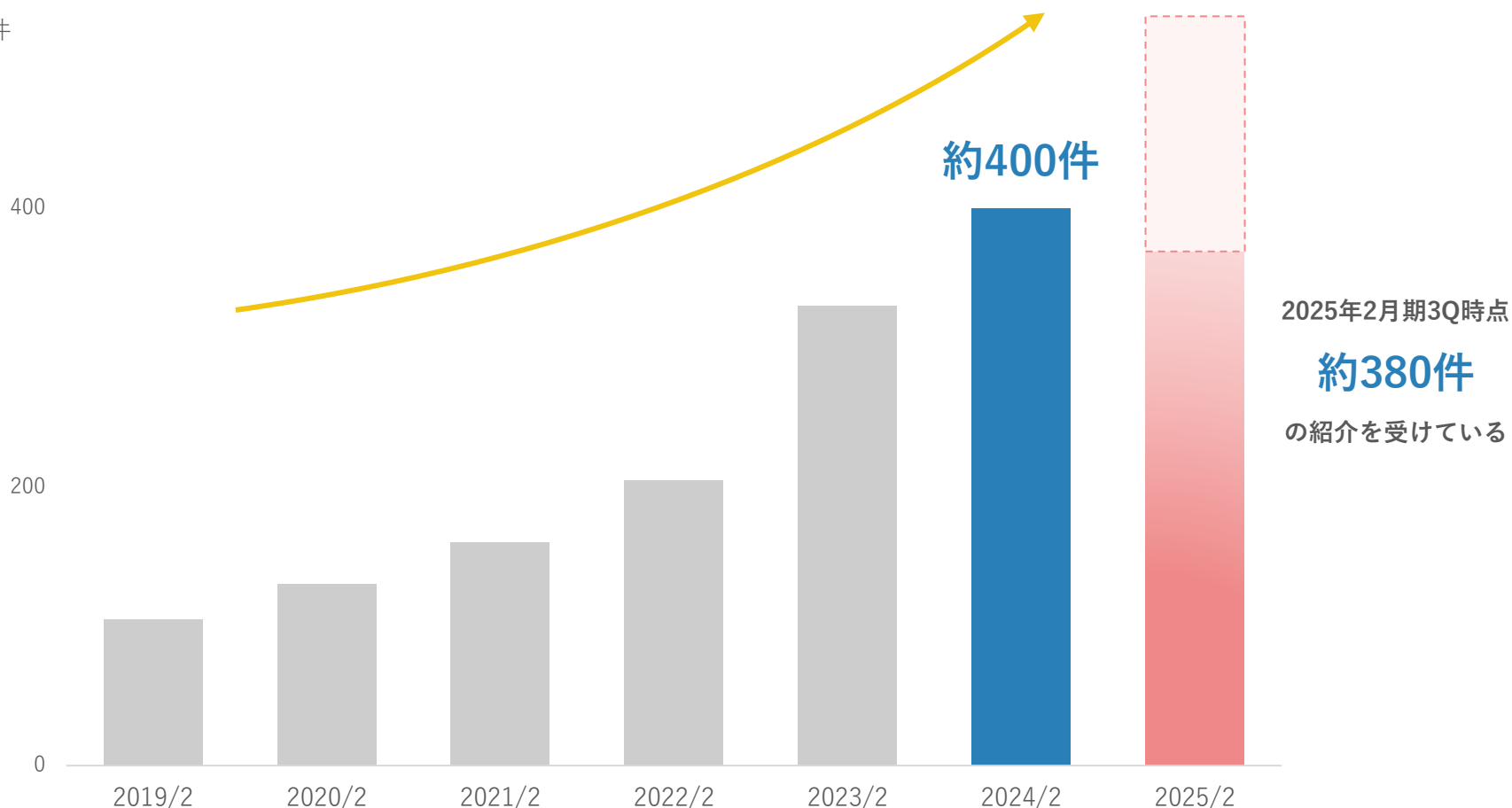
調整後営業利益



引き続き多数のM&A案件の紹介を受け、検討件数は増加傾向  
グループ化によりメリットが見込める業界におけるロールアップや、商品力があり利益率の高い企業のグループ化など、当社のM&A戦略に沿った企業の検討を進めている

## 当社へのM&A案件紹介件数の推移

単位：件



# 2025年2月期 3Q決算詳細



営業利益、経常利益、当期純利益、EBITDAは前年同期比で大幅に増加  
主にワイエスフーズグループを連結に取り込んだことが要因

	2024年2月期 3Q		2025年2月期 3Q		前年 同期比	2025年2月期 修正後 業績見込 ※2025年1月14日	
		構成比		構成比		(通期)	進捗率
売上高	34,645	100.0%	43,351	100.0%	+ 25.1%	58,215	74.5%
売上総利益	6,995	20.2%	9,791	22.6%	+ 40.0%	-	-
販管費	5,635	16.3%	6,792	15.7%	+ 20.5%	-	-
営業利益	1,359	3.9%	2,999	6.9%	+ 120.6%	3,100	96.8%
経常利益	1,904	5.5%	3,060	7.1%	+ 60.7%	3,543	86.4%
親会社株主に帰属 する当期純利益	590	1.7%	1,246	2.9%	+ 111.1%	1,620	76.9%
EBITDA	2,669	7.7%	4,863	11.2%	+ 82.2%	5,245	92.7%

(注) EBITDA = 営業利益 + 償却費 (減価償却、のれん) + コロナ関連補助金収入 + M&A取得関連費用



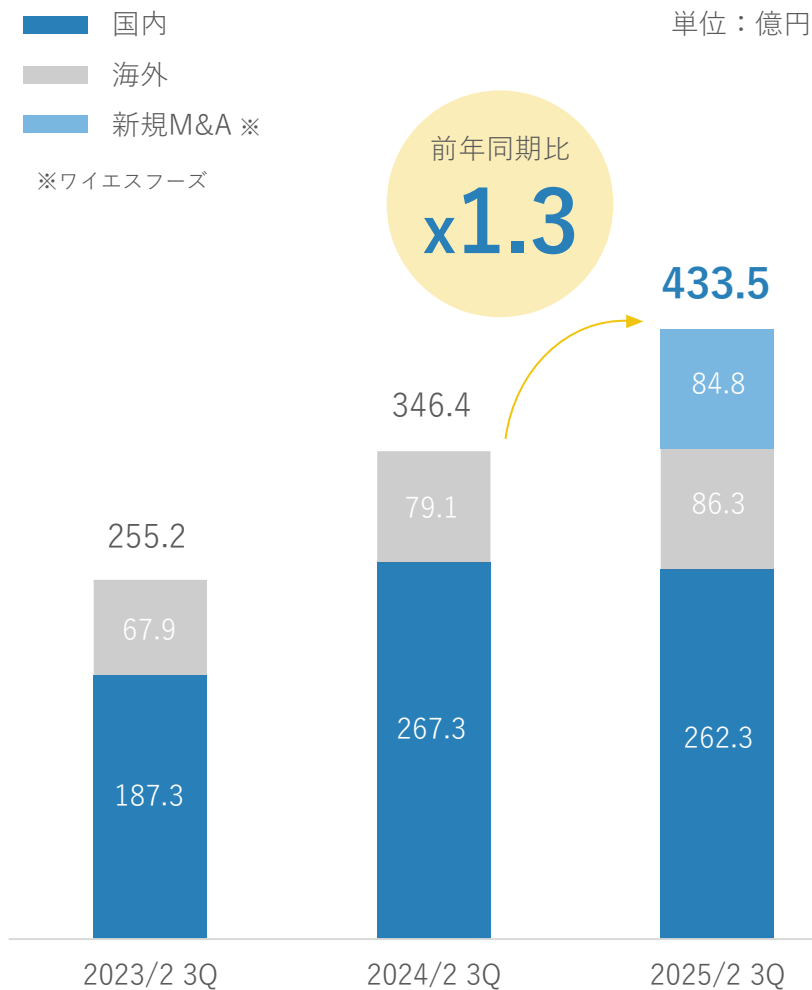
## ワイエスフーズグループの取り込み、シンガポール子会社の回復により増収

### 売上高

前年同期比

433.5 億円 +25.1 %

- 国内事業は、ワイエスフーズグループ（2024/2期4Qから連結）が寄与したことで増収。
- 海外事業は、シンガポール、マレーシアにおける観光需要の回復、およびマルキチ、ワイエスフーズのホタテの拡販が奏功したことで増加。



## ワイエスフーズグループの取り込み、マルキチのホタテ販売価格回復により大幅に増益

### 営業利益

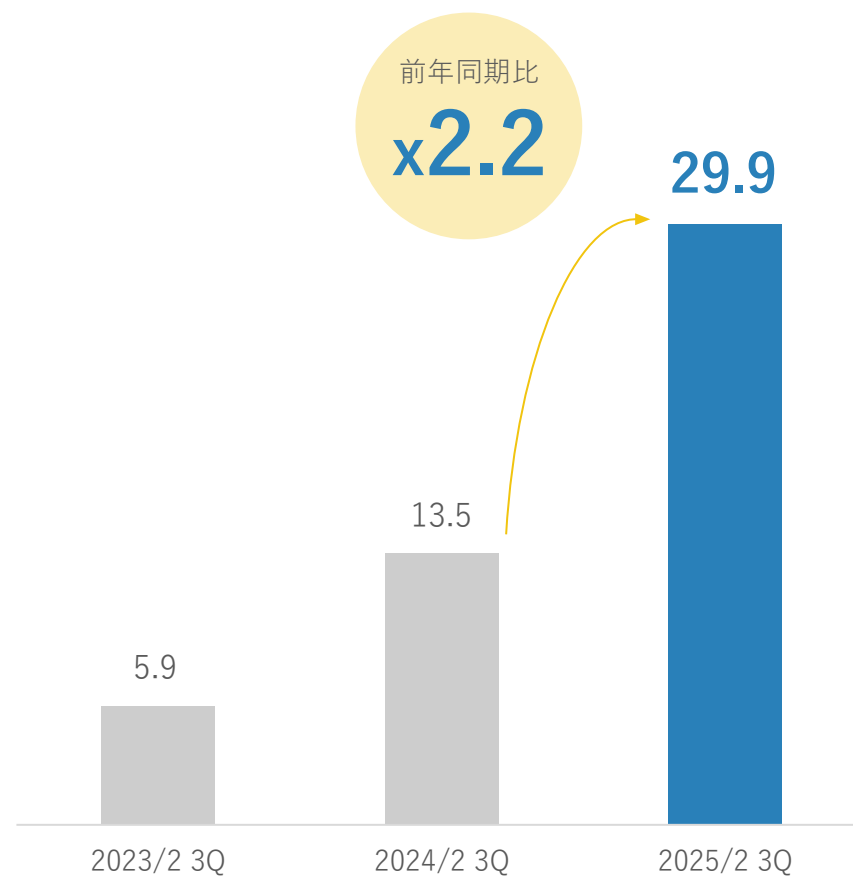
前年同期比

29.9 億円

+120.6 %

単位：億円

- 国内事業は、ワイエスフーズグループ（2024/2期4Qから連結）が寄与したことで増益。マルキチはホタテ貝柱の販売価格が回復したことにより大幅に増益。
- 海外事業は、シンガポール、マレーシアにおける観光需要の回復、およびマルキチ、ワイエスフーズのホタテの拡販が奏功したことで増加。



経常利益は、外国為替相場の変動により為替差損52百万円（前年同期は為替差益303百万円、差額▲355百万円）を計上。EBITDAは営業利益の増加に伴い増加。

## 経常利益

前年同期比

30.6 億円

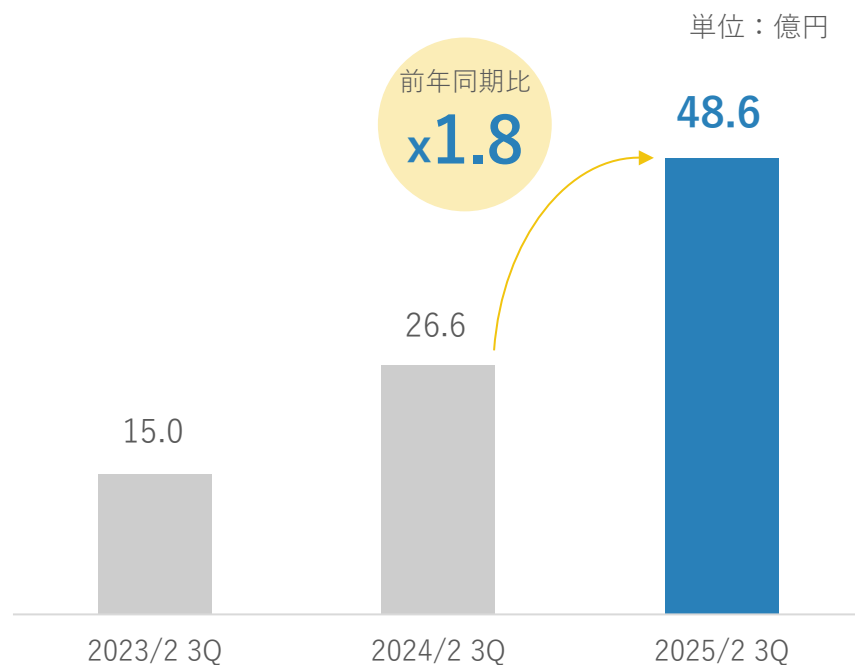
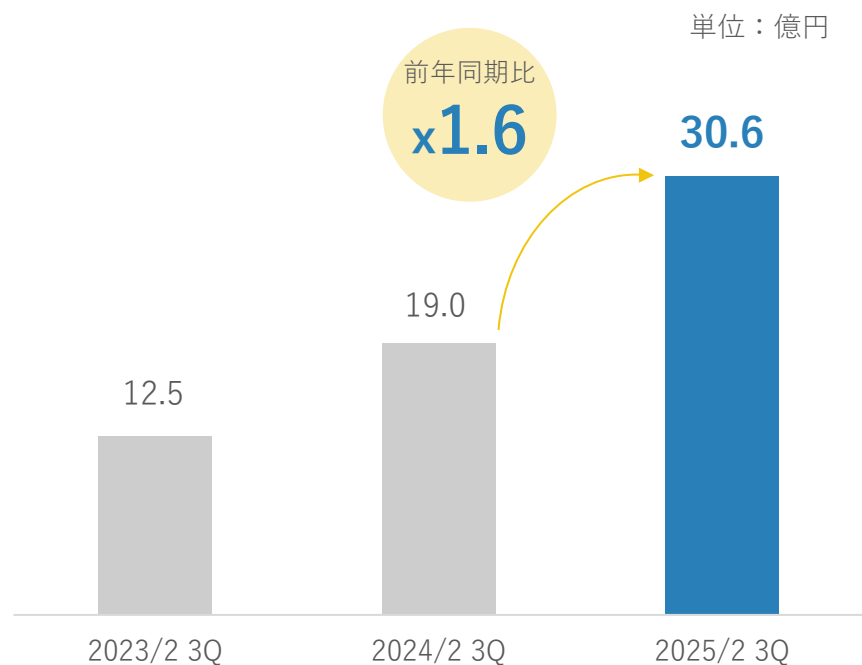
+60.7 %

## EBITDA

前年同期比

48.6 億円

+82.2 %



## 当期純利益が増加したことで自己資本比率は18.0%（前期末比+1.8%）となる

(単位：百万円)	2024年2月期末 時点	2025年2月期 3Q 時点	前期末比	備考
<b>流動資産</b>	<b>28,337</b>	<b>32,077</b>	<b>+ 3,739</b>	
現金及び預金	10,225	11,162	+936	■ 受取手形及び売掛金 売上の増加に伴い売掛金が増加
受取手形及び売掛金	7,131	8,374	+1,242	
棚卸資産	10,193	11,532	+1,339	■ 棚卸資産の増加 ホタテ収穫期に伴い、マルキチ及び ワイエスフーズグループの棚卸資産が 増加
<b>固定資産</b>	<b>25,199</b>	<b>24,687</b>	<b>▲ 512</b>	
有形固定資産	10,842	11,092	+249	
のれん	8,047	7,399	▲648	■ のれんの組み替え ワイエスフーズのPPAが完了し、のれん の一部を顧客関連資産に組み替え
顧客関連資産	3,912	3,636	▲276	
<b>総資産</b>	<b>53,537</b>	<b>56,764</b>	<b>+ 3,227</b>	
<b>流動負債</b>	<b>25,026</b>	<b>26,201</b>	<b>+ 1,175</b>	
借入金及び社債	18,486	17,701	▲785	■ 借入金の減少 借入金の返済が進んだことで減少
<b>固定負債</b>	<b>15,307</b>	<b>15,239</b>	<b>▲ 67</b>	
長期借入金及び社債	13,126	12,661	▲465	
<b>純資産</b>	<b>13,203</b>	<b>15,323</b>	<b>+ 2,119</b>	
自己資本	8,698	10,227	+1,528	■ 自己資本の増加 利益計上により自己資本が増加し、 自己資本比率は18.0% (前期末比+1.8%)

# 売上高の状況（セグメント別）

## 製造事業セグメント、販売事業セグメント共に増収

(単位：百万円)

	2024年2月期 3Q	2025年2月期 3Q	前年同期比	備考
<b>製造事業セグメント</b>	<b>27,391</b>	<b>35,473</b>	<b>+ 29.5%</b>	
ワイエスフーズ ※マタツ水産、清藤水産を含む	-	8,122	-	■ ワイエスフーズは前期4Qより連結開始
マルキチ	4,420	4,134	▲6.5%	■ マルキチは処理水放出の影響で前年同期比で減少しているものの、販売単価回復により3Q単体では増収
楽陽食品	3,616	3,974	+9.9%	■ 楽陽食品は消費者の低価格志向、新商品販売により増収
Pacific Sorby	2,801	2,963	+5.8%	■ Pacific Sorbyは観光需要の回復により増収
NKR	2,452	2,740	+11.8%	■ NKRはマレーシアが好調に推移し増収
オープン	2,023	2,001	▲1.1%	
その他（17社）	12,075	11,535	▲4.5%	
<b>販売事業セグメント</b>	<b>6,944</b>	<b>7,602</b>	<b>+ 9.5%</b>	
ヨシムラ・フード	4,465	4,426	▲0.9%	
Sin Hin	1,494	1,884	+26.1%	■ Sin Hinはホタテの販売が好調に推移し増収
その他（2社）	984	1,290	+31.1%	
<b>その他事業セグメント</b>	<b>310</b>	<b>275</b>	<b>▲ 11.1%</b>	
<b>合計</b>	<b>34,645</b>	<b>43,351</b>	<b>+ 25.1%</b>	

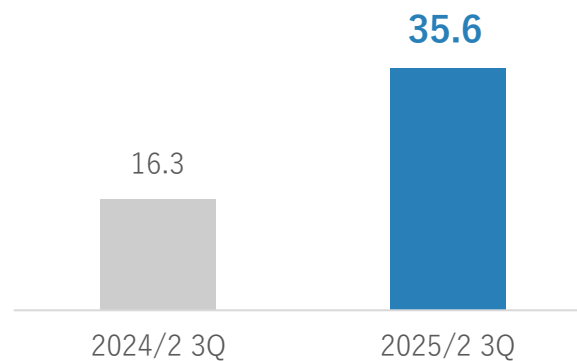
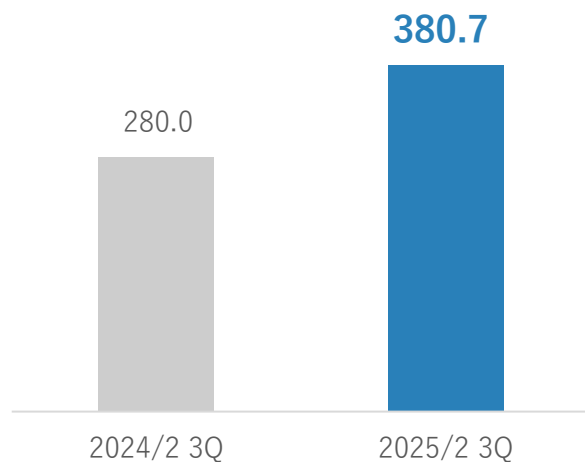
(注) 2024年2月期までの決算説明資料では、個社別の売上高には、セグメント間の取引および内部取引を含めておりましたが、2025年2月期第1四半期の説明資料から内部取引調整後の売上高を記載しております。

(単位：億円)

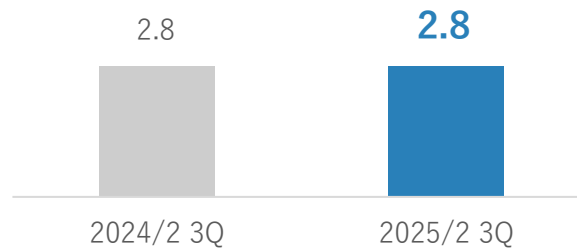
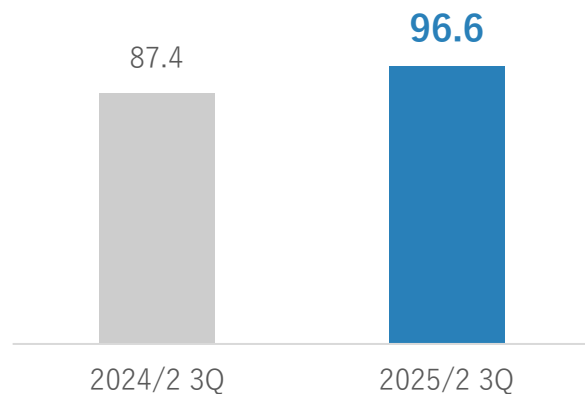
## 売上高

## 営業利益

国内



海外



(注) 売上高は、セグメント間の取引が含まれています。

(注) 営業利益は、のれん償却額等を含めていません。

# Appendix



## MISSION

いつまでも、この“おいしい”を楽しめる社会へ

～消費者が多様な食文化を享受できる豊かさの実現～

- 私たちは、人々が、多種多様な選択肢から自分の嗜好に合わせて自由に選択でき、それが尊重される社会こそ、豊かで幸せであると考えます。
- 私たちは、世界中の消費者が、多種多様で高品質な“おいしい”を自由に選択し、それを楽しめる豊かな社会を目指してまいります。

## VISION

地域の“おいしい”を守り、育て、世界へ

- 私たちは、「いつまでもこの“おいしい”を楽しめる社会」を実現するため、日本および世界で大切にされてきた“おいしい”を見つけ、守り、育て、世界へと届けてまいります。
- そのために、私たち独自の“おいしい”を見つける目利き力、“おいしい”を守る事業基盤、“おいしい”を育てる支援機能、“おいしい”を世界へと届ける販売網を構築してまいります。
- その結果として、世界の食文化と多様化、地域社会の活性化を推進するグローバルプロデューサーとなります。

## VALUES

「あなた“らしさ”を大切にします」

- 私たちは、私たちに関わる全ての方のあなた“らしさ”を大切にします。
- 私たちは、私たちのグループで働く社員の“個性”、“新しい発想”、“チャレンジ精神”を大切にします。
- 私たちは、私たちのグループ企業が持つ“歴史”、“文化”、“社員”、“取引先”、“地域社会”を大切にします。
- 私たちは、私たちのグループ企業が持つ“強み”を伸ばし、“弱み”を補い合い、共に成長してまいります。
- 私たちは、私たちに関わる全ての人の“らしさ”を大切にした結果、多様な選択肢のある豊かな社会づくりに貢献します。



# 会社概要

- 社 名 株式会社ヨシムラ・フード・ホールディングス
- 設 立 2008年3月18日
- 代 表 者 代表取締役CEO 吉村 元久
- 本 社 東京都千代田区内幸町2-2-2  
富国生命ビル18階
- 資 本 金 1,125百万円（2024年2月末現在）
- 主 要 株 主 吉村元久 37%（株式会社MY保有分含む）  
国分グループ本社(株) 5.0% 他
- 連 結 業 績 売上高：49,781百万円  
経常利益：2,978百万円（ともに、2024年2月期）
- 従 業 員 数 連結：1,792人  
単 体： 27人（ともに、2024年2月末現在）
- 事 業 内 容 食品関連会社の株式を保有する持ち株会社。  
子会社において各種食品の製造・販売。
- グ ル ー プ 主要連結子会社：29社
- 市 場 東証プライム（2884）

## 代表取締役CEO

吉村 元久 Motohisa Yoshimura

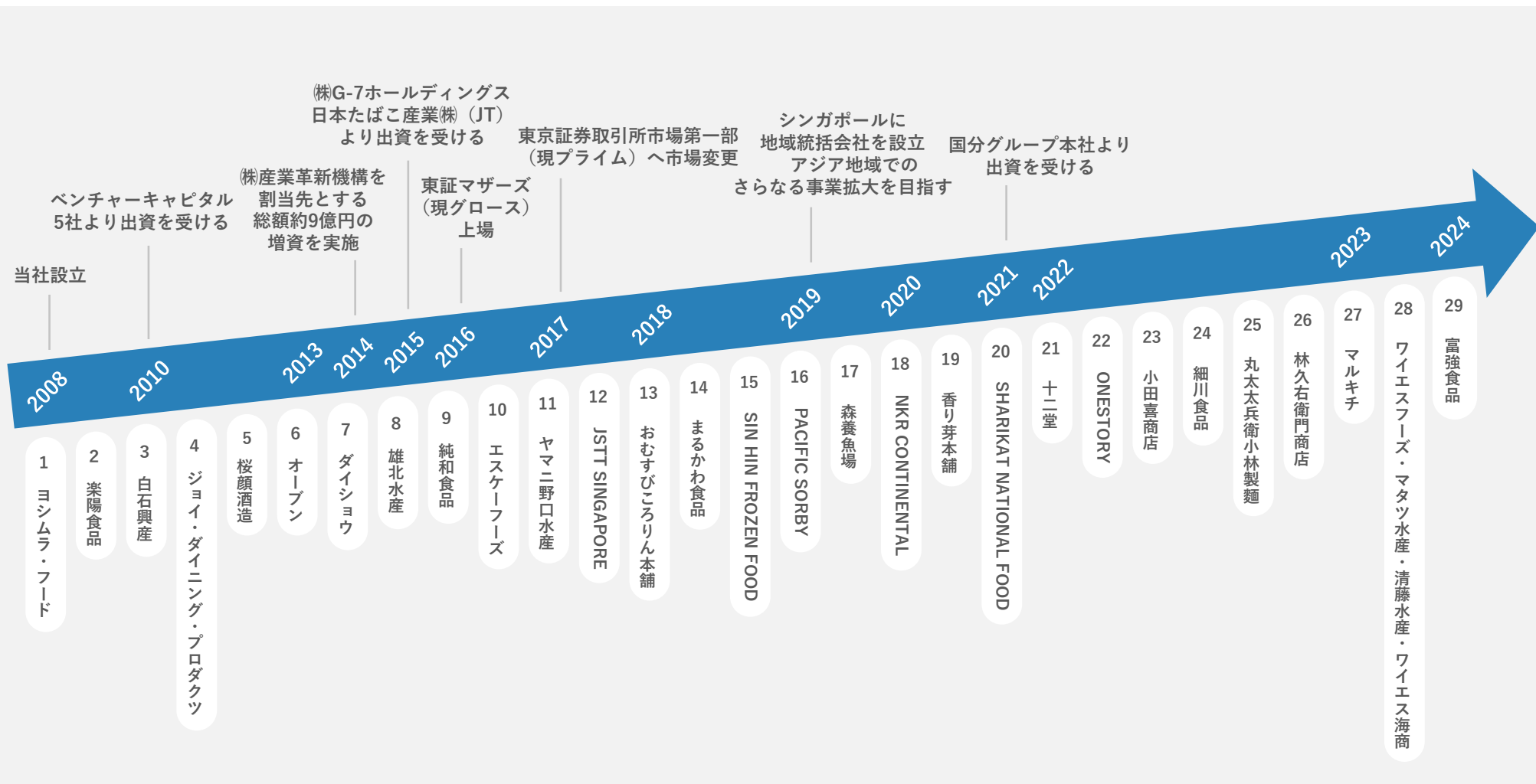


出身地 北海道函館市

最終学歴 1988年3月 一橋大学商学部卒業  
1994年6月 ペンシルバニア大学大学院  
ウォートン校卒業（MBA）

職 歴 1988年4月 大和証券株式会社入社  
事業法人部 上場企業の資金調達業務  
1996年7月 同社 資産証券部 課長代理  
資産の証券化業務  
1997年10月 モルガン・スタンレー証券株式会社入社  
事業法人部 エグゼクティブディレクター  
コーポレートファイナンス業務  
2008年3月 当社 代表取締役（現任）

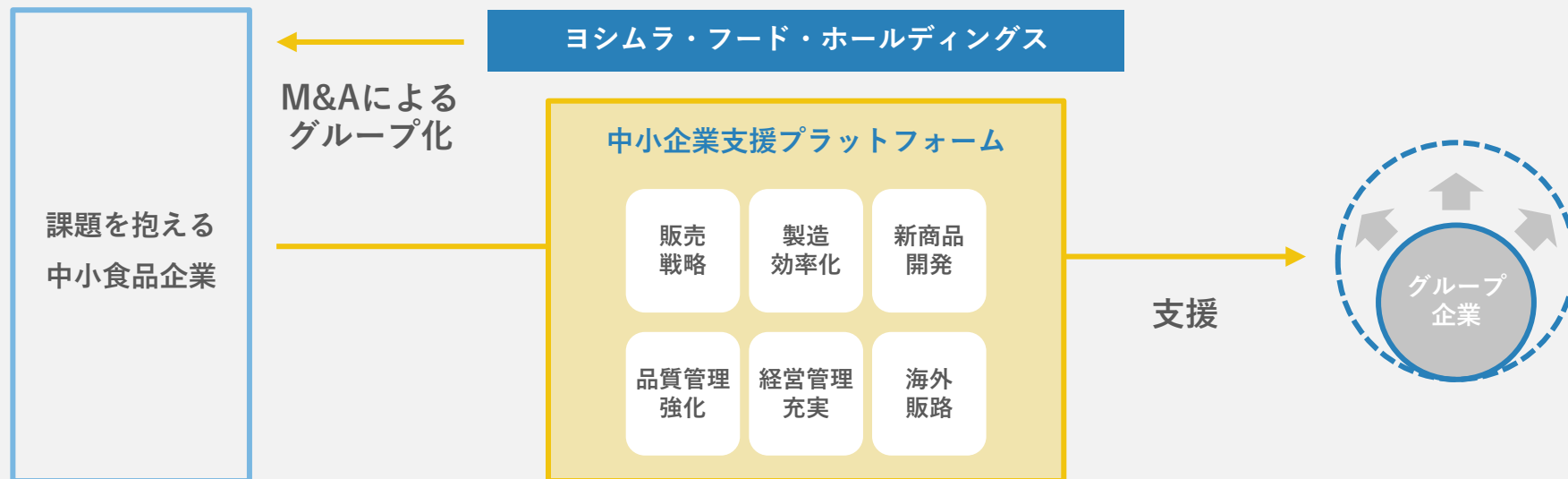
## 中小食品企業のM&Aと 当社ビジネスモデルへの共感企業からの出資の歴史



食品業界におけるユニークなビジネスモデルにより、  
当社は**2つの成長エンジン**を有する

## 1. グループ企業の拡大による成長

## 2. 既存事業の業容拡大による成長



## グループ会社を機能別に統括することで、相互補完・相互成長を図る仕組み

ヨシムラ・フード・ホールディングス

HD統括

【中小企業支援プラットフォーム】

セールス・マーケティング

商品開発

生産管理

購買・物流

品質管理

経営管理

海外販路

販売戦略

商品戦略・新商品

効率化

コストダウン

安心安全

経営効率化

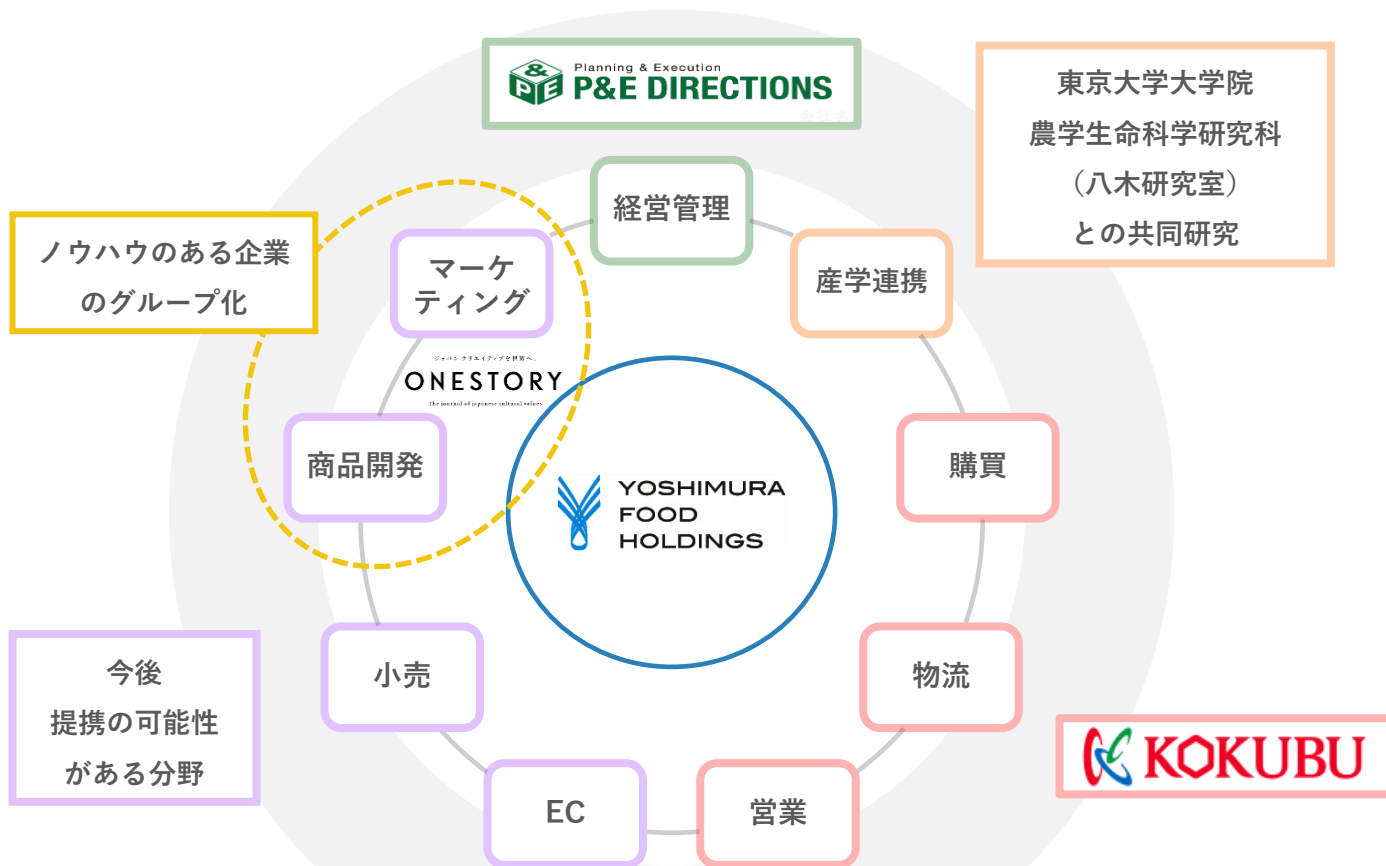
販路拡大・売上増加

傘下のグループ企業

### グループ会社の 有機的な相互補完関係

- 会社の壁を越えて  
機能ごとに横断的組織を構築
- 各機能別の統括責任者が  
グループを横断的に統括
- 各社の持つ強みを  
グループ全体で共有し  
弱みを補い合う

バリューチェーンごとに最適なパートナーとの提携やM&Aを行うことで、より一層の成長を目指す



提携先と一体となり中長期的な成長を実現

後継者不在企業を譲り受け、グループ化して活性化する当社の事業は  
正に**ESG経営そのもの**であり、**ESG経営をより強化することで持続的な成長を実現**



# グループ会社の概要

## 楽陽食品



### シウマイ・餃子

- 国内5か所に工場
- チルドシウマイの生産量は国内トップシェア

## 白石興産



### 乾 麺

- 明治19年創業
- 宮城県白石市特産の白石温麺が主力商品

## 桜顔酒造



### 日本酒

- 昭和48年岩手県の地場の酒蔵10社で設立
- 県内出荷量2位

## オープン



### 冷凍かきフライ

- 広島産カキを調達する独自ルートを保有
- 鶏なんこつ唐揚等も製造

## ダイショウ



### ピーナッツバター

- ピーナッツバターのパイオニアで、主力商品は30年以上続くロングセラー

## 雄北水産



### まぐろ加工品

- 船凍品のまぐろのみを使用した、ねぎとろ、まぐろ切り落としを製造販売

## 純和食品



### ゼリー

- 高い技術力と彩の国HACCPに認定された高い品質管理能力

## エスケーフーズ



### とんかつ

- 「彩の国優良ブランド品」に認証された「むさし野とんかつ」が主力商品

## ヤマニ野口水産



### 水産加工品

- 鮭とばやいくら醤油漬け等北海道の新鮮な原料を使用した水産品を製造

## JSTT SINGAPORE



### 寿司

- シンガポールの工場にて寿司等を製造し、シンガポールの大手スーパーへ販売

## おむすびころりん本舗



### フリーズドライ

- フリーズドライ加工、フリーズドライ製品の製造、非常食の販売

## NKR CONTINENTAL



### 業務用厨房機器販売

- 主にシンガポール及びマレーシアの高級ホテル等へ、業務用厨房機器を設計・製造・施工・販売

## 香り芽本舗



### ふりかけ・スープ

- ソフトタイプのわかめふりかけ、わかめスープ等の自社商品からOEMまで、高品質かつ多様な商品を製造

## 森養魚場



### 鮎 (アユ)

- 岐阜県内3ヵ所において、高品質な鮎を養殖、販売
- 高度な養殖技術を有し、子持ち鮎の安定生産が可能

## まるかわ食品



### ぎょうざ

- 静岡において、秘伝のレシビよるぎょうざを製造
- 自社店舗には行列が絶えない人気店



# グループ会社の概要

## PACIFIC SORBY



### 水産加工品

- シンガポールの主要なホテルに対し、自社加工した冷凍ロブスター、カニなどを販売

## 細川食品



### かき揚げ

- かき揚げ、チヂミ、赤飯等の冷凍食品製造
- 野菜加工及び野菜原体の販売

## マルキチ



### ホタテ

- オホーツク海で獲れた、大粒で肉厚なホタテの加工販売（主に輸出向け）
- サケやカニ等も取り扱う

## ヨシムラ・フード



### 業務用惣菜

- 業務用食材の企画・販売が主、自社で物流を持たず、販売先へ直送するビジネスモデルを構築

## ONESTORY



### マーケティング・コンテンツ開発等

- 地域に眠る「食」や「文化」等を再発掘・再編集し、プレミアムなコンテンツとしてプロデュース

## 十二堂



### ふりかけ

- ソフトふりかけ「梅の実ひじき」等を製造、販売
- 全国に多くのファンを持ち根強い人気を誇る

## 丸太太兵衛小林製麺



### 生麺（ラーメン）

- 生麺、餃子の皮、たれ等調味料の製造・販売
- 得意先は北海道内外のラーメン店

## ワイエスフーズ



### ホタテ

- 噴火湾沿岸で漁獲されたホタテの加工販売
- サケ・いくらやイカ等も取り扱う

## ジョイ・ダイニング・プロダクツ



### 宅配等

- 冷凍食品の企画・販売
- 全国の生活協同組合と直接窓口を保有

## SHARIKAT NATIONAL FOOD



### 不動産賃貸・管理

- シンガポールにおいて食品工場兼食品用低温倉庫を所有し不動産賃貸業を行う

## 小田喜商店



### 栗加工品

- 厳選した良質な地元産の「いわまの栗」を使用した高品質な栗製品を製造・販売

## 林久右衛門商店



### だし

- 明治18年創業経節専門店
- 上質な厳選素材にこだわった削り節、だしの製造加工・販売

## 富強食品



### 中華料理材料

- 春巻きの皮を主力商品とした中華食材の製造販売
- 日本で初めて春巻きの皮を製品化した企業

## SIN HIN FROZEN FOOD



### 水産品卸

- シンガポールの水産品卸
- 主力商品は、エビ、ホタテ、カニ等



## 本資料の取り扱いについて

- 本資料に記載されている市場環境等の情報に関する記述は、当社が独自で調査を行ったものであり、必ずしもその内容の正確性及び完全性を保証するものではありません。
- 本資料に記載されている業績見通し等の将来情報に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではなく不確実性を含んでおります。また、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。
- 本資料には、監査法人による監査を受けていない管理資料が含まれております。

